

## 子どもたちに栄養と希望を。 RED CUP CAMPAIGN

今、世界には飢餓で多くの幼い命が失われていること、  
食べるために働いて学校に行けない子どもたちがまだいること、  
この状況を多くの人に伝え、一人でも多くの子どもたちに  
学校給食を届けるためのキャンペーンです。

目印は、WFPが給食を入れる容器として使っている、赤いカップ。

赤いカップは、子どもたちの未来への希望のシンボル。

このカップを目印にして、皆さまに学校給食支援に  
ご協力いただく機会をご用意します。

皆さまの力で、給食が届く、世界がより良くなっていく、  
それがレッドカップキャンペーンの願いです。

詳しくは、専用ウェブサイト  
[www.redcup.jp](http://www.redcup.jp)



地球の飢餓を救え。

# WFP

国連世界食糧計画

認定NPO法人 国連WFP協会 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜6F

●お問い合わせ: 0120-496-819

受付時間 9:00~18:00 (年末年始を除く毎日)  
※携帯電話・PHSからもつながります。

WFP

検索

THE WORLD FOOD PROGRAMME  
WFP 国連世界食糧計画

WFP School Meals Programme

## 「WFPの学校給食プログラム」

子どもたちに栄養と希望を



ご支援・ご協力をお願い



学校へ——そして飢えから抜け出す

## 「WFPの学校給食プログラム」

WFP 国連世界食糧計画(WFP)は、食糧難に苦しむ途上国の人々に食糧を配給する国連の食糧支援機関です。

その活動の柱の一つとなっているのが「学校給食プログラム」です。

これは、途上国の学校で栄養価の高い給食を提供するというもので、子どもたちの健全な発育を助けると同時に、就学率・出席率の向上に寄与しています。

学校で無料の給食が出ると、親が子どもたちを積極的に学校に通わせるようになります。

子どもたちも空腹が満たされ、集中して勉強することができます。

子どもたちは、教育を受けることで将来への夢や希望を持てるようになり、

また教育の普及は社会や国の発展にもつながります。

日本の給食は、世界の中でも長い歴史を誇り、

明治22年に山形県で貧困児童の救済を目的に、おにぎり、焼き魚と漬物が

提供されたのが始まりとされています。

その後、戦時中は一時中断しましたが、第二次大戦後の困難な食糧事情の中、

脱脂粉乳など海外からの援助物資を受けて日本の学校給食の制度は急速に普及。

子どもたちを飢えから救い、健全な発育を後押しし、戦後の復興の一助となりました。

WFPは過去45年以上にわたり、世界中の途上国で学校給食を配給してきました。

2008年には、68の途上国において、およそ2300万人の子どもたちに給食を提供しました。

戦後、日本の子ども達が給食に力をもらったように、

いま、WFPの給食は世界中の途上国で子どもたちの未来を支えています。

どうぞ皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

緊急・復興・開発支援のどの段階でも、学校給食プログラムは費用対効果が高く、建設的な人道支援のひとつです。1人あたりたった5,000円で、1年間、栄養たっぷりの学校給食を支給し、就学率を向上させることができます。女子教育促進、児童労働撲滅、エイズ孤児の助けにもつながります。弱い立場にある全ての子どもたちに対して有効なプログラムです。

「極度の貧困と飢餓の撲滅」というミレニアム開発目標<sup>※</sup>を達成するためにも、ぜひご協力ください。

※ミレニアム開発目標/21世紀の国際社会の8つの目標として、2000年国連ミレニアムサミットで、世界の指導者たちによって採択されました。

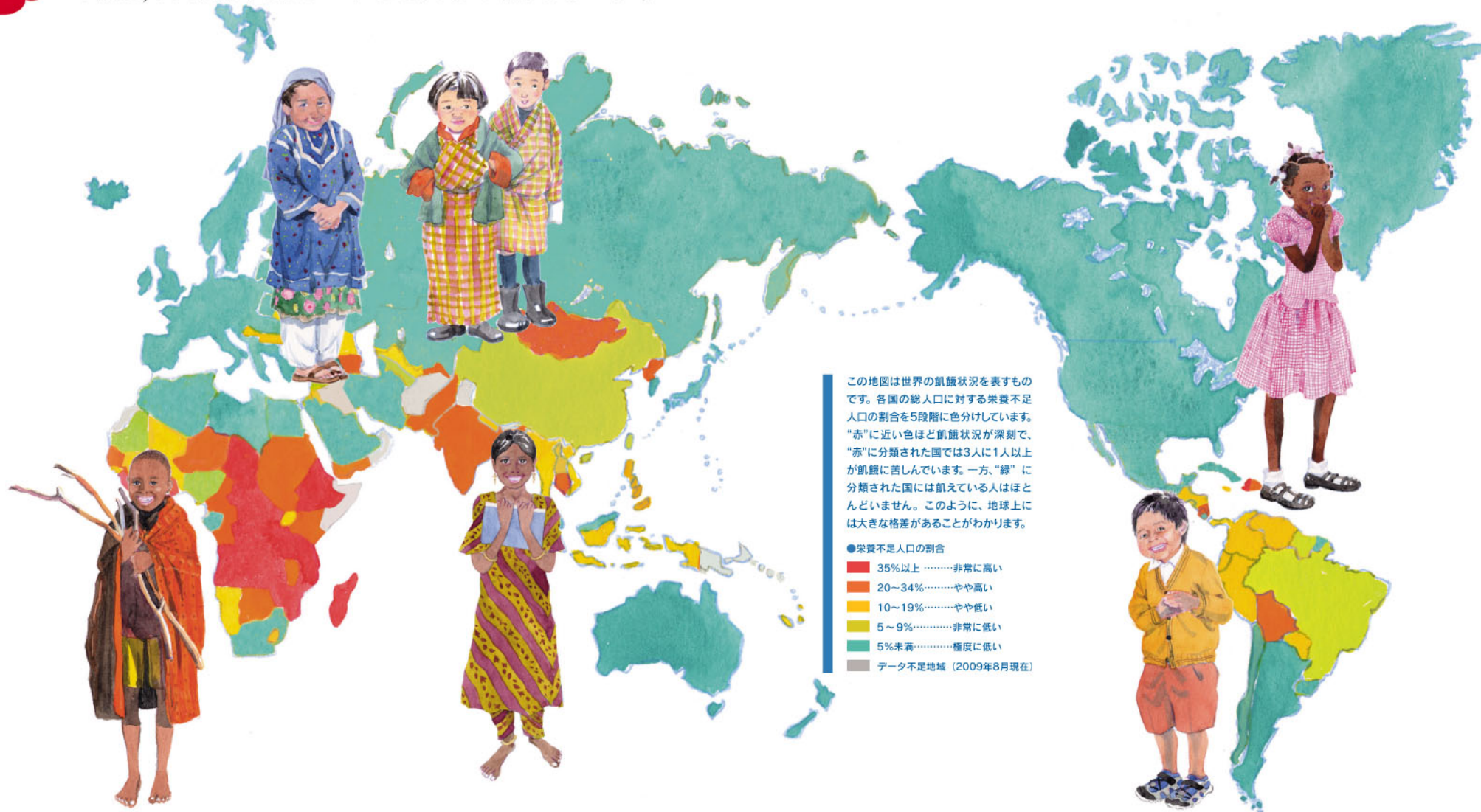
WFP事務局長 ジョゼット・シーラン





## 1. いま、世界では ……

# 3億5,000万人以上の子どもたちが飢えています



世界には約68億人の全人口が食べるのに十分な食糧があります。それにもかかわらず、飢えは未だ死亡原因の第1位です。現在、昨今の食糧価格高騰などにより世界の飢餓人口は急増しており、およそ10億人の人々が飢えに苦しんでいます。これは世界の全人口の6人に1人。このうち3億5,000万人以上が子どもたちです。そして6秒に1人、5歳未満の子どもが飢えを原因としてその命を落としています。

途上国では、学校で食事をとることができない子どもが6,600万人います。この子どもたちは空腹のため注意散漫になりやすく、勉強に集中することができません。さらに7,500万人は、家庭の労働の担い手になるなどして、学校に通うことすらできません。未来を担うべき人材を育成できないこと、それはその国の将来にさらに大きな負担を課すことでもあります。



## 2. 学校給食プログラムの活動内容 ……

# 給食で就学率と学習能力を高める

### 「学校給食プログラム」のご紹介

WFP 国連世界食糧計画は国連唯一の食糧支援機関であると同時に、世界最大の人道支援機関です。世界の飢餓撲滅を使命として活動を続けており、特に子どもの飢餓をなくすことを最優先課題のひとつとして取り組んでいます。そして、その中心となる活動が「学校給食プログラム」です。

#### 「学校給食プログラム」による成果

- 就学率と出席率が著しく向上します。
- 空腹が満たされれば、子どもたちは学習に専念できるようになります。
- 子どもたちは少なくとも1日1回は栄養価の高い食事を摂ることができます。
- 家にいることが当然だとされていた女子にも、学習の機会が与えられます。
- 親も子どもたちを働かせるより、通学させることを選ぶようになります。



©WFP/ AK Brodeur

#### 「学校給食プログラム」の実績

年度	実施国の数	受給した子供の数
1999年	52カ国	1,190万人
2000年	54カ国	1,230万人
2001年	57カ国	1,500万人
2002年	64カ国	1,560万人
2003年	69カ国	1,520万人
2004年	72カ国	1,660万人
2005年	74カ国	2,170万人
2006年	71カ国	2,020万人
2007年	70カ国	1,930万人
2008年	68カ国	2,260万人

●WFPが51カ国で行ったアンケート調査では、2001年から2005年の間に学校給食を提供した地域で就学率が平均で毎年14%ずつ上がりました。サハラ砂漠以南のアフリカ32カ国では特にめざましい効果があり、女子は28%、男子は22%上昇しました。

#### 貧困対策と学校給食プログラム

貧しい地域では家庭で食事ができず、WFPの提供する給食が、その日唯一の食事になる子どもたちがいます。学校で食糧が配給されれば、子どもたちの栄養状態が改善されるのみならず、家計を助けることにもなり、親は子どもを働かせるより通学させることを選ぶようになります。

WFPは各国政府、地方自治体、国際・国内NGOと協力して「学校給食プログラム」を実施し、子どもたちの就学率、出席率、そして授業の集中度アップに取り組んでいます。

#### 緊急支援と学校給食プログラム

緊急事態が起こった時、教育は後回しになりがちです。しかし子どもたちをできるだけ早く学校に戻すことは、復興のためにも欠かせません。そこでWFPは緊急時にも子どもたちが教育を受け続けられるよう、支援の一環として学校給食プログラムを実施し、食糧を提供するとともに心理面のケアを行っています。大人たちも子どもがきちんと教育を受け、栄養をとっていれば、安心して復興作業を進めることができます。WFPはこれまでに、インド洋津波の被害を受けたインドネシア・スマトラ島やスリランカなどで緊急学校給食を実施してきました。

#### 女子教育と学校給食プログラム

学校に通っていない子どもたちの6割近くは女の子です。小学校を4年以内に中退する子のほとんどは女の子です。これは女の子には家の仕事を手伝わせ、若くして結婚させるという慣習も影響しているといわれています。

WFPは男女間の教育格差を是正するために、学校給食の他に「食糧持ち帰りプロジェクト」を行っています。米や食用油といった基本的食糧を家庭に供給することで、娘たちが学校に通い家の仕事を手伝わなくなったために家庭が受ける損失を補い、女子の教育の機会を確保します。このプロジェクトは、読み書きのできない女性が多い文化圏で女子の就学率・出席率向上に寄与し、出席率が300%近く向上した学校もあります。



©WFP/ Alexandre Chicheri

#### HIV/エイズ対策と学校給食プログラム

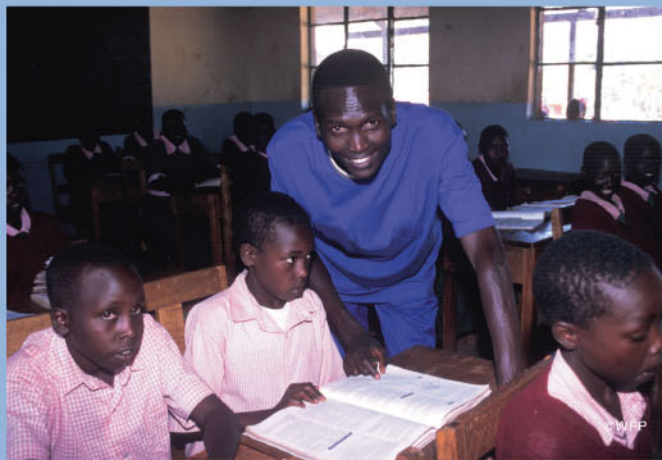
HIV/エイズのひろがり、地域の社会的・経済的安定をゆるがす非常に深刻な問題です。現在、世界で1,500万人以上の子どもたちがエイズで親を亡くしています。子どもたちは家庭での働き手になるなど生きのびるための苦難を強いられ、十分な栄養が取れない環境におかれ、学校にも通えなくなります。WFPは学校給食を通じて、HIV/エイズが深刻化する地域で教育機会の拡大を後押ししています。





### 3. 「学校給食プログラム」との出会い① ……

## WFPの支援なしには、読み書きを学ぶことは できなかったでしょう——ポール・テルガトさん(ケニア)



WFP飢餓撲滅大使の女優、  
ドリュエー・バリモアさんと。  
©WFP/Guillaume Bonn

2003年のベルリン・マラソンで2時間5分を切る世界記録(当時)の保持者となったケニアのポール・テルガト選手。彼は2004年1月、WFPの飢餓撲滅大使になりました。WFPが支援する学校給食があったからこそ学校に通うことができたテルガト選手は語ります。

テルガト選手が通っていたその小学校は、ケニアのバリンゴ湖を望む丘のアカシアの木に囲まれ、レンガと木でできています。今やスポーツ界の伝説的存在であり、偉大なマラソンランナーであるポール・テルガト選手ですが、当時の彼は、活発で走ることが大好きな少年でした。毎日、自宅から学校まで走って通っていたテルガト選手は、学校でWFPの学校給食プログラムを通じて食糧支援を受けていました。

テルガト選手は次のように言います。

「WFPの支援なしには、私たちは読み書きを学ぶことはできなかったでしょう。学校へ通う子どもたちに1日1食を提供することは素晴らしい考えです。子どもは読み書きを覚えるだけでなく、健康に気を配り、自分の将来に自信を持つようになります」

テルガト選手の母国、ケニアは度重なる干ばつに苦しめられています。2008年～2009年にかけても干ばつが発生し、農作物の収穫量が例年に比べて著しく減少したほか、多くの家畜が深刻な打撃を受けました。食糧価格高騰の影響もあり、人々は不安定な生活を余儀なくされています。生計を助けるため、学校を退学する子どもたちも大勢います。しかし、テルガト選手は次のように言います。

「私たちはあきらめたり、希望を捨てたりはしません。そのためにもWFPの支援は不可欠です。やがて干ばつは終わり、子どもたちはかけがえのない歳月を取り戻すことができるでしょう」

「80年代にエチオピアを飢餓から救ったときのように、世界中の人々が協力する必要があります。子どもが飢えることはあってはならないですし、全ての子どもたちが読み書きを学ぶべきです」

テルガト選手はマラソンを極めるのと同時に、祖国の子どもたちが夢をかなえるのを助けたいと願っています。「大切な目標なしに一生走り続けても意味がありません」とテルガト選手は言います。



## Winning the race against hunger

NEW YORK, 6 November: Paul Tergat is the world's fastest marathon runner. He is also an ambassador for the world's 300 million children who must run their own race against hunger.

At the age of eight, Paul Tergat himself knew hunger. But a school feeding project run by the World Food Programme at his school in Kenya gave him and his classmates a head start in life.



On average, it only costs 19 US cents a day to feed a child in school. Help future front runners like Paul. [www.wfp.org/donate](http://www.wfp.org/donate)



WFPのポスターに登場したテルガト選手。  
©WFP



母校の後輩たちと一緒に。  
©WFP/Wendy Stone



#### 4. 「学校給食プログラム」との出会い② ……

### 学校で好きなのはトウモロコシのごはん！

——グイビンチアーネ・ギンガザちゃん(中央アフリカ共和国)

7歳になるグイビンチアーネちゃんは、最近まで、クラスメイトたちがそうだったように、勉強よりも仕事の方が好きでした。細仕事についていくと、お昼ときには現地の芋・キャッサバやマンゴーを食べられたからです。

でも小学校でWFPの学校給食が始まってからは、10キロの道のりをがんばって歩き、学校に通っています。

「学校で一番好きな科目？ それはトウモロコシのごはん！」そして、お父さんのエマニュエルさんの手を握り、「学校は勉強する場所だけど、行けばおなかがいっぱいになれるから好きなの……」とささやきました。



グイビンチアーネちゃんとお父さんのエマニュエルさん。

グイビンチアーネちゃんが通うフェレ小学校は、アフリカでも最も貧しい国のひとつである中央アフリカ共和国の首都バンギから120キロ離れた所にあり、WFPが406人の生徒に無料で給食を支援しています。

WFPが学校給食を支援し始めてから、10キロ歩いて学校に通う子どもたちも出てきました。学校から何十キロも離れた実家を出て、学校のある村で親戚のもとに身を寄せて暮らす子どもたちも多くなります。子どもたちは1日に2回の無料の食事と教育が受けられます。

コンスタン・ナコーア校長はこう語っています。

「親が子どもたちを学校に通わせるのは、子どもたちが学校で食事を食べられると知っているからです。これは家計にとっても大助かりで、親たちは心配から解放されるのです」

村長のオーギュスト・マレンギザ氏も同意しながら、「以前は無理やり子どもたちを学校に行かせなくてはなりませんでした。今では喜んで登校します。大きな変化をもたらしてくれた学校給食プログラムが継続されることを、心から望んでいます」と言います。

2005年10月にこの小学校でWFPの学校給食プログラムがスタートし、1日2回朝昼の給食が支給されるようになると、その効果は一目瞭然でした。2年間で子どもたちの就学率が10%も向上したのです。この学校給食プログラムの成功は、WFPの次なるプロジェクトを後押しすることになります。

フェレ小学校は近辺の極貧に苦しむ村の中では最も立派な建物だったにも関わらず、調理場の設備がありませんでした。そこで、WFPが村の人に食事を提供し、その代わりに、学校に新しい教室と併せてトイレやキッチンも建設してもらいました。



©WFP





## 5. 学校給食プログラムの対象地域とメニュー ……

### 効率的で効果的に使われる学校を選定

#### 選定基準とメニュー

WFPは学校給食プログラムをもっとも必要とし、かつ有効に活用される場所を選定してプログラムを実施しています。学校や施設を絞るためには、下記のような方法を使っています。給食メニューは、現地の食習慣、どんな食糧が調達しやすいか、学校に調理場があるかなどによって変わります。

#### 選定方法と判断基準

- 食糧が足りていない地域の特定
- もっとも緊急で教育支援が必要な地域の割り出し（出席率の低さ、男女格差など）
- 供給した食糧が効率的かつ効果的に使われているか、下記の基準で判断
  - ① その地域で活動している他の団体との効果的なパートナーシップを結ぶことができるか
  - ② 特に女性スタッフと女子学生に対し、最低限の設備（トイレなど）や安全を保障することができるか
  - ③ 両親と教師を含めた地域社会からの積極的な関与はあるか
  - ④ 十分な食糧を備蓄し、調理できる設備はあるか
  - ⑤ プロジェクトの費用対効果が高いか



©JAWFP/ Takako Kikugawa

#### メニュー事例

実施国	食事の種類	内容
東ティモール	朝食	トウモロコシと大豆の粉で作った粥(200g)、砂糖(8g)、ビタミンA強化植物油(8g)
イラク	朝の-snack	栄養強化ビスケット(100g)
ルワンダ	昼食	トウモロコシ粉(100g)、豆類(30g)、ビタミンA強化植物油(8g)、塩(3g)
ベナン	朝食・昼食・夜食	穀物(米かトウモロコシ)(450g)、豆類(45g)、缶詰の魚(25g)、ビタミンA強化植物油(20g)

## 6. 食糧が現地に届くまで ……

### 支援を必要としている人々に確実に届けます

#### ● 募金から食糧支援までの流れ

皆さまから寄せられた募金は、食糧購入および物資の輸送費にあてられます。購入された食糧は地域の倉庫に輸送・保管され、国内の輸送機関で現地に運ばれます。国連の中でも随一の輸送集団であるWFPでは、毎日、飛行機70機、船30隻、トラック5,000台が世界中で稼働し、支援を必要としている人々のもとへ食糧を確実に届けています。また、それぞれの段階できちんと保管・管理・支給されているかどうかをチェックする「モニタリング」も随時行っています。

皆さまからの募金



#### 調達・輸送



輸送コストを可能な限り抑えると同時に途上国の農業を振興するために、食糧は原則として近隣地域から購入します。食糧は大型貨物船やトラックで輸送されます。

©WFP/ Marcelo Hernandez

#### 現地/倉庫



食糧が確実に到着し、保管されているかチェックします。倉庫内の食糧の品質管理も怠りません。

©JAWFP

#### 国内輸送



鉄道や航空機を使用したり、地域によってはラクダや象、ロバを使用することもあります。

©WFP

#### 支援を必要とする人々へ

2008年には、78カ国1億200万人に390万トンの食糧を届けました。そのうち、68カ国2,260万人の子どもたちが学校で学びながら食糧支援を受けました。

©WFP/ Rein Skullerud

モニタリング

支援を必要としている人々に本当に届いているかチェックし、また、食糧状況についての情報を収集します。



## 7. WFP 国連世界食糧計画とは ……

# 国連唯一の食糧支援機関・世界最大の人道支援機関

### WFPの活動

WFP 国連世界食糧計画は国連唯一の食糧支援機関であり、かつ世界最大の人道支援機関です。飢餓と貧困の撲滅を使命として1961年に設立が決定され、1963年から正式に活動を始めました。ローマに本部を置き、世界各地に現地事務所を設けています。およそ1万人の職員のうち9割以上は実際に支援が行われている現場での活動に従事しています。2008年、WFPは78カ国で1億200万人に390万トンの食糧支援を実施。総支出は37億米ドルに上ります。WFPの活動資金は、各国政府からの任意拠出金と民間企業や団体、個人からの募金でまかなわれています。

主な活動内容は、①自然災害や紛争などで深刻な食糧不足が発生した場合や死の危険にさらされた人命を守るための食糧配給、②乳幼児や妊娠・授乳中の女性などへ栄養強化のための食糧配給と健全な発育の補助、③栄養価の高い給食を提供しながら教育の機会を拡げる「学校給食プログラム」、④職業訓練を受けた人に見返りとして食糧を配給し、人々の自立を促す活動、⑤道路などの工事で働いた人に労働の対価として食糧を配給し、地域の発展を促す活動、などです。

### 日本とWFP

WFP 国連世界食糧計画日本事務所は1996年10月横浜市に開設され、日本政府との連絡業務、企業や各団体・NGOとの協力関係の推進および広報活動を行っています。過去11年間における日本政府からWFPへの年間平均拠出額は1億3,400万ドルで、日本はWFPの主要拠出国のひとつです。


また、日本におけるWFPの公式支援窓口として「国連WFP協会」があります。これはWFPを支援する認定NPO法人で、企業や各種団体との連携を深めたり、募金を集めたりするなどの活動を展開しています。

## 募金方法

WFP 国連世界食糧計画へのご寄付は、以下の方法があります。

### 随時のご寄付は ……

#### ■ クレジットカードで

お電話  0120-496-819 (通話料無料)

インターネット [www.wfp.org/jp](http://www.wfp.org/jp)

携帯電話



■ ご利用いただけるクレジットカード



#### ■ 手数料無料振込口座から

三菱東京UFJ銀行

店名：本店(店番001)

口座種別・番号：普通預金 0887110

口座名：トクヒ)コクレンWFPキヨウカイ

※領収書発行および寄付金使途指定の際は、国連WFP協会までご連絡ください。

#### ■ 郵便局(ゆうちょ銀行)から

口座番号：00290-8-37418

加入者名：国連WFP協会

#### ■ 楽天銀行から

[www.rakuten-bank.co.jp](http://www.rakuten-bank.co.jp)

内「募金・寄付」をご覧ください。

#### ■ ソフトバンクチャリティダイヤル

ソフトバンクモバイルで[\*5577]におかけいただくと、月替わりでWFPに関する情報が流れ、通話料がWFPに寄付されます。

### 毎月のご寄付は ……

#### ■ WFPマンスリー募金

WFPマンスリー募金は、毎月一定の金額をクレジットカード、またはご指定の金融口座から自動引き落としとして、ご協力いただくプログラムです。毎月の継続的なご支援が、多くの子どもたちを飢えから救います。例えば毎月5,000円を1年間ご寄付いただくと、12人の子どもたちに栄養たっぷりの給食を1年間届けることができます。詳しくは国連WFP協会にお問い合わせください。

### お問い合わせ・資料請求は ……

認定NPO法人 国連WFP協会  0120-496-819 (通話料無料)

受付時間 9:00~18:00 (年末年始を除く毎日)

※携帯電話・PHSからもつながります。※国連WFP協会へのご寄付は寄付金控除の対象になります。